

県内のイノシシ・ニホンジカの出没状況等について

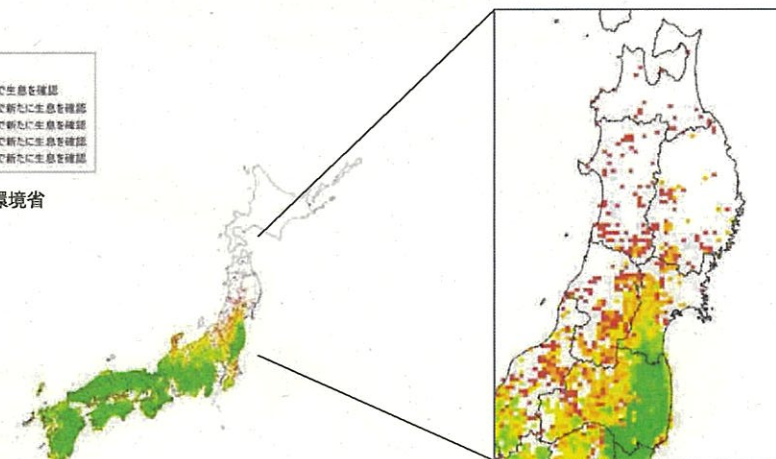


秋田県生活環境部自然保護課

全国の分布状況（イノシシ）



2020 環境省



1970年代 「積雪深30cm以上」が「70日以上続く」地域での生息は困難

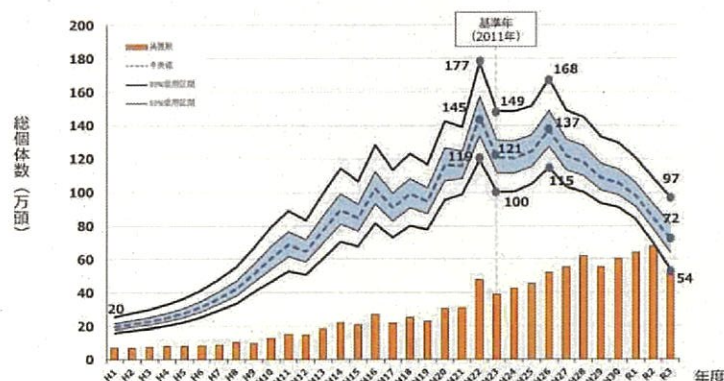
2000年代 「積雪地帯にも生息域が拡大」

2020では、分布域は全国の約6割。53から40年間で約1.9倍に拡大

イノシシ推定生息数（R5.4環境省）

2. イノシシの個体数推定の結果

- 令和3（2021）年度末におけるイノシシの推定個体数は、中央値で約72万頭（90%信用区間：約54～97万頭）となりました。
- イノシシの個体数は、平成26（2014）年度をピークに、減少傾向が継続していると考えられます。

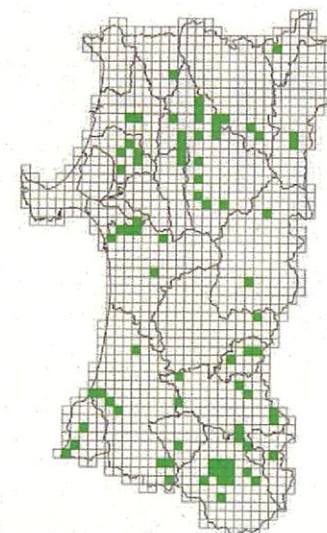
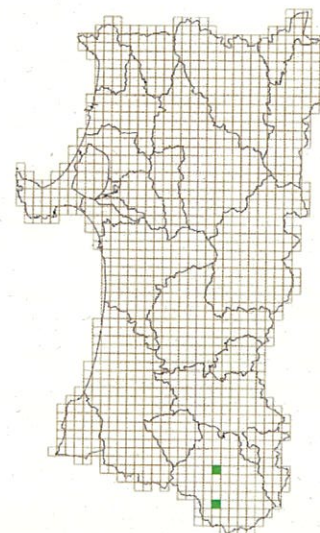


※ 令和3（2021）年度の自然増加率の推定値は、中央値1.47（90%信用区間：1.29～1.64）

県内の分布（イノシシ）

2011（H23）年度

2022（R4）年度

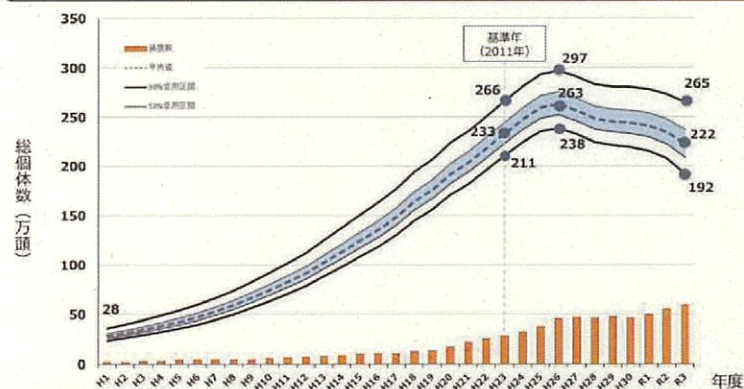


11年間で

ニホンジカ推定生息数（R5.4 環境省）

1. ニホンジカ(本州以南)の個体数推定の結果

- 令和3（2021）年度末におけるニホンジカ(本州以南)の推定個体数は、中央値で約222万頭（90%信用区間：約192～265万頭）となりました。
- ニホンジカの個体数は、減少傾向が継続していると考えられるものの、依然として高い水準にあるため、引き続き捕獲強化を進めていく必要があると考えられます。



※ 令和3（2021）年度末の自然増加率の推定値は、中央値1.20（90%信用区間：1.17～1.23）

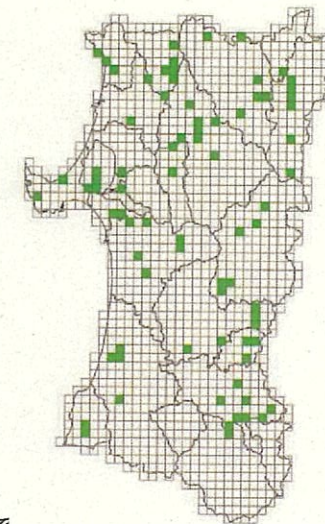
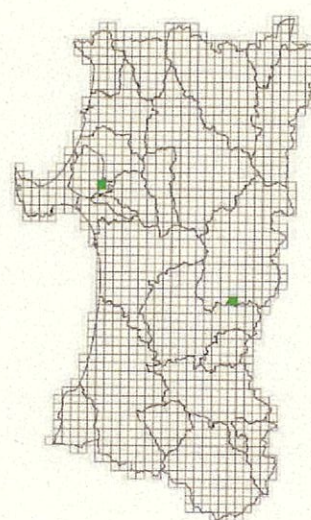
※ 令和3（2021）年度の北海道の推定個体数は、東部地域31万頭、北部地域18万頭、中部地域20万頭、南部地域3～20万頭（北海道資料）

2

県内の分布（ニホンジカ）

2009（H21）年度

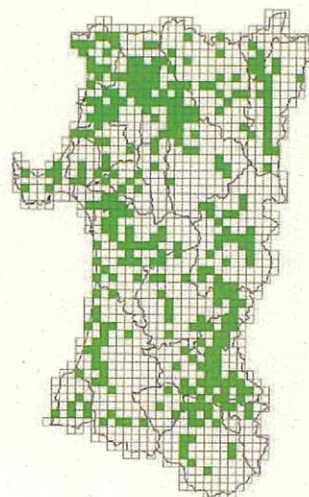
2022（R4）年度



13年間で

県内の分布（ニホンジカ）

2009（H21）～2022（R4）



県内の目撃・捕獲数の推移（ニホンジカ）

